

兵庫県のアツバ亜科
兵庫県産蛾類分布資料・31
高島 昭

今回はヤガ科のうちアツバ亜科について述べる。ここで示したデータは2003年12月1日現在で入手した資料に基づいている。記載の要領はこれまでのものと同じである。

なお、いつものことながら、兵庫県立人と自然の博物館における収蔵標本の調査及び記録の掲載については、人と自然の博物館の中西明德氏、八木剛氏に格別のご配慮をいただいた。この場を借りて厚くお礼を申し上げる次第である。

アツバ亜科 <HYPERINAE>

亜科の定義には昔から諸説あるようで、蛾類大図鑑では *Hypena* 属とその近縁属のみを配置し、それ以外のものはクチバ亜科に配置されている。

日本からは50種が知られており、そのうち兵庫県からは34種が記録されている(54ページ別表参照)。

地域別に見ると、神戸11種、阪神北摂16種、中東播南部5種、中東播北部18種、西播南部13種、西播北部21種、南但23種、北但5種、丹波21種、淡路北部10種、淡路南部17種となっている。山地性の種が多いため、西播北部、南但、丹波で多くなっている。北但や中東播南部地域は調査不足と思われる。マエキトガリアツバ、ヒトスジアツバ、ナミテンアツバ、ホソバアツバ、ミツボシアツバ、コテングアツバ、ソトウスナミガタアツバ、マルモンウツヅマアツバ、マガリウスツマアツバの9種は採集例が少なく注目種である。

1. *Anoratha costalis* Moore (4447)

マエキトガリアツバ 注目種

雌雄異型で近畿地方以西、四国、九州、屋久島に分布するという。兵庫県は分布の北限域に近いと思われる。今のところ県下からは養父市で筆者が記録したものが唯一の採集例である。

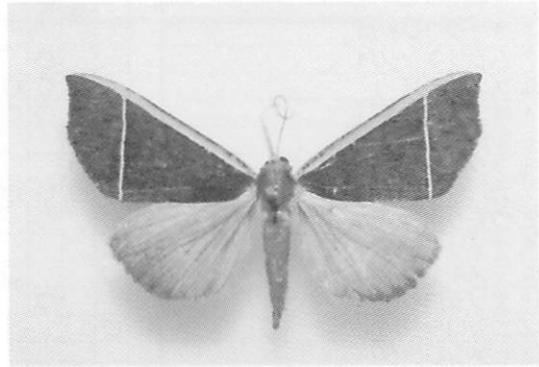
【採集記録】

養父市(大段ヶ平, 1.VII.2000, 1♀, 高島昭²⁴)

2. *Latirostrum bisacutum* Hampson (4448)

テングアツバ

宮城県付近を北限とし、本州から九州にかけて分布する。夏に出現し、成虫で越冬し翌春再び活動する。ミヤマハハソ、アワブキを食樹とする。県下では山地性のようで採集記録はあまり多くないが、越冬後の個体がよく灯火採集で見られるようである。



マエキトガリアツバ

【採集記録】

神戸市(摩耶山, 14.IV.1963, 1♀; 20.IV.1963, 1♀, 田中蕃¹³)

川西市(能勢口, 9.V.1992, 1♂, 東良雄¹³⁶)

八千代町(笠形山, 8.VIII.1965, 1ex., 岡本清²⁰⁴)

大河内町(長沢, 14.IV.2000, 1♂, 高島昭)

波賀町(坂の谷, 11.V.1991, 1♀, 八木剛*: 引原, 7.VI.1975, 1♂,

遊磨正秀⁵⁵: 同, 21.X.1997, 1♂, 高島昭)

養父市(大屋町横河溪谷, 15.V.1999, 1♂; 13.VIII.1999, 1♂, 高

島昭: 氷ノ山, 11.VIII.1956, 1♀, 山本義丸*)

青垣町(栗鹿山, 4.VIII.1948, 1♀, 山本義丸*)

3. *Rhynchina cramboidea* (Butler) (4449)

トガリアツバ

東北地方を北限として本州、四国、九州に産する。おそらく年1回の発生で、成虫で越冬するという。マルバハギを食樹としている。県下での採集例は少なく、丹波地域と淡路地域で得られているにすぎない。十分な調査を行えばさらに産地はみつかると思われる。なお、以前は♀の1型を *R.morosa* Butler シロスジトガリアツバとして扱っており、この名で記録されているものもあったが、現在では本種の♀の正常な形態であることが判っている。

【採集記録】

柏原町(柏原, 28.IV.1955, 1♀, 山本義丸*)

市島町(妙高山, 28.IV.1957, 1♀, 山本義丸*)

津名町(大町畑, 12.IV.1972, 1♂, 登日邦明²⁵)

南淡町(阿万上町, 26.IV.1960, -; 8.VI.1968, -; 9.V.1972, -; 藤平明

⁴¹: 同, 6.V.1972, 1♂, 登日邦明²⁵: 同, 10.VII.1972, 1♀, 登日

邦明³⁷: 同, 10.V.1974, -, 藤平明⁵⁹: 同, 16.VI.1995, -, 藤平明

¹⁹⁷: 賀集, 28.VI.1995, -, 藤平明¹⁹⁷)

4. *Harita belinda* (Butler) (4450)

ナカジロアツバ

東北地方から九州、対馬、屋久島に分布する。春に見られるのは越冬個体で、夏に羽化した個体は成虫で越冬する。コマツナギが食草として知られる。県内では各地に普通に見られる。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,--,--,田中蕃¹³)
川西市(黒川,18.V.1996,2♂1♀;3.V.1997,1♂,高島昭¹⁷¹;平野,18.IV.1992,1♂,東良雄¹³⁰)
能勢妙見山(5.VIII.1984,1♂,夏秋ほか⁵⁷)
黒田庄町(喜多,3.IV.1959,3exs.;15.IV.1959,1ex.;26.VI.1959,1ex.;13.IV.1960,1ex.;14.VII.1960,1ex.,岡本清¹⁶⁵)
安富町(皆河,21.X.1988,1♂,高島昭)
波賀町(鹿伏,18.VIII.1995,1♀,高島昭;引原,11.X.1975,1♀,遊磨正秀⁵⁵;同,19.X.1988,1♂,高島昭¹⁴⁹)
相生市(瓜生,28.IV.1995,1♂,高島昭¹⁵²;同,2.V.1996,1♀;30.IV.1997,1♂,高島昭)
上郡町(行頭,2.V.1995,2♂,高島昭¹⁵⁰)
三日月町(下本郷,-IV,-,-,1984,-,川副昭人¹⁰³)
和田山町(久世田,26.IV.1998,1♂,柴田剛)
養父市(氷ノ山,--,--,遠山ほか²⁶)
柏原町(柏原,18.VI.1952,1♀;20.VI.1952,1♀;12.VI.1954,1♀;14.IV.1955,1♀;16.IV.1955,1♀,山本義丸*)
市島町(妙高山,9.VIII.1954,1♀,山本義丸*)
津名町(大町畑,3.IV.1972,1♂,登日邦明²⁵)
南淡町(阿万上町,14.IV.1961,-;18.III.1968,-,藤平明⁴¹;同,17.VI.1986,-;27.IV.1987,-,藤平明¹⁹⁷)

5. *Hypena claripennis* (Butler) (4452)

キシタアツバ

宮城県付近を北限とし、四国、九州、対馬まで分布している。幼虫はヤブマオの仲間を食べる。局地的な産出をするらしいが、県下では比較的普遍的に記録されており、平地から里山にその主な生息域がある。しかし、氷ノ山でも採集されており移動力があるのか、環境適応性が広いのか興味深い。春から9月頃まで採れており、おそらく年2~3回発生すると思われる。

【採集記録】

神戸市(名谷,2.VII.1977,1♀,松本健嗣⁵⁰)
西宮市(上叡原町,10.IX.1968,1♀,東正雄¹³⁰;生瀬,29.IV.1971,1♂,遊磨正秀³¹)
川西市(黒川,10.VIII.1996,1♂,高島昭¹⁷¹)
猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁷³)
宝塚市(南口2丁目,21.IX.1981,-,新家勝⁶⁵;安倉北4丁目,28.VII.1988,-,新家勝¹³⁰)
加西市(中山町,27.IV.1996,1♂,重村太博*)
西脇市(-,15.IV.1959,1ex.;20.IV.1960,1ex.,岡本清¹⁶⁴)
黒田庄町(喜多,13.V.1960,1ex.,岡本清¹⁶⁵)
三日月町(下本郷,-IX,-,-,VII.1983,-,VIII.1983,-,川副昭人

102)

養父市(氷ノ山,--,--,遠山ほか²⁶)

柏原町(柏原,8.VI.1955,1♀(飼育),山本義丸*)

市島町(妙高山,28.VIII.1954,1♀,山本義丸*)

南淡町(阿万上町,5.V.1960,-,藤平明⁹⁹;同,20.IV.1968,-,藤平明⁴¹;賀集,3.V.1995,-,藤平明¹⁹⁷)

6. *Hypena amica* (Butler) (4453)

クロキシタアツバ

次種タイワンキシタアツバとたいへんよく似ているが、内横線が黄褐色影で縁取られず、翅表中央に明瞭な三角形を形成しないことで区別できる。北海道から九州にかけてと対馬、屋久島、奄美、伊豆諸島に産する。幼虫はヤブマオ類を食べる。県内では里山から山地まで幅広く分布し、前種や次種よりも生息範囲が広そうである。

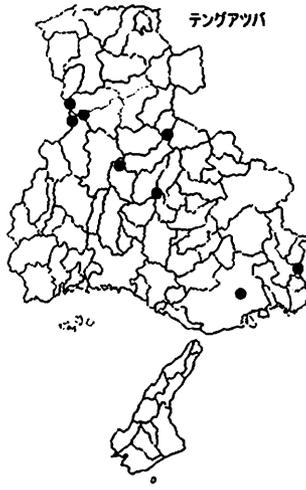
【採集記録】

神戸市(摩耶山,--,--,岡村八郎¹⁰⁴;同,--,--,田中蕃¹³;六甲山,26.VII.2001,1ex.,MT,八木ほか^{230*})
西宮市(-,4.IX.1967,1♀,阪口浩平*)
川西市(黒川,13.VII.1996,1♂1♀,高島昭¹⁷¹)
宝塚市(南口2丁目,7.VI.1981,-,新家勝⁷⁵)
黒田庄町(喜多,29.IX.1960,1ex.,岡本清¹⁶⁵)
八千代町(笠形山,30.V.1960,1ex.,岡本清¹⁶⁵)
加美町(三国岳,30.V.1959,1ex.,岡本清¹⁶⁴)
新宮町(-,-,-,-,相坂耕作²⁰⁵)
安富町(大河溪谷,5.VI.1999,1♂,高島昭)
波賀町(坂の谷,19.VIII.1998,1♀,高島昭;引原,27.VII.1973,1♀;VIII.VI.1974,1♀,遊磨正秀⁵⁵;同,25.VII.1988,1♂;9.VIII.1988,2♂;1.IX.1988,1♀;22.IX.1988,1♀,高島昭¹⁴⁹)
三室山(-,-,-,-,遠山ほか²⁶)
相生市(瓜生,1.VI.1988,1♀,高島昭¹⁵²)
上月町(西新宿,16.VIII.1997,1ex.,高島昭)
三日月町(下本郷,-IX,-,-,VIII.1983,-,川副昭人¹⁰²)
登岡市(正法寺,29.IV.1998,1♂;10.IX.1998,1ex.;20.IX.1998,1ex.,柴田剛;山本,27.V.1973,-,山根政之⁶²)
養父市(大屋町田瀬山,5.VIII.1975,1♂,遊磨正秀⁷⁰;氷ノ山,-,-,-,遠山ほか²⁶)
柏原町(柏原,5.VI.1954,1♀,山本義丸*)
北淡町(常陸寺山,31.VII.1967,-,登日邦明¹⁹)
南淡町(阿万上町,10.V.1959,-;10.VI.1966,-,藤平明⁴¹;同,14.IX.1995,-,藤平明¹⁹⁷;瀬大川,7.V.1994,-,藤平明¹⁹⁷;瀬黒岩,1.IX.1997,-,藤平明¹⁹⁷)

7. *Hypena trigonalis* (Guenée) (4454)

タイワンキシタアツバ

本州から九州にかけての本土域と対馬、屋久島に分布する。東北地方が北限となる。近縁種の中では分布域が広くインドから中国、台湾、日本にかけて生息するが、南西諸島にはいない。ヤブマオ類を食べ、年2回の発生と思われる。県下では各地に見ら



れるが、キシタアツバと同じく平地から低山地が主な分布域である。

【採集記録】

川西市(黒川,7.IX.1996,2♂,近藤伸一¹⁷¹:同,3.V.1997,1♂,高島昭¹⁷¹)

猪名川町(上阿古谷,1.IX.1982,1♂,夏秋ほか⁷³)

宝塚市(武庫川町,21.IX.1984,-,新家勝⁹³)

西脇市(-,30.IV.1959,1ex.;1.VII.1960,1ex.,岡本清⁹⁴)

波賀町(引原,27.VII.1973,1♂,遊磨正秀⁹⁵:同,5.VIII.1988,1♂,高島昭¹⁶³)

三室山(-,-,-,-,遼山ほか⁹⁵)

上郡町(船坂,4.X.1997,1♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.VI.-,-.IX.-,-.VII.1983,-.V.1984,-.VII.1984,-,川副昭人¹⁰²)

養父市(氷ノ山,-,-,-,-,遼山ほか⁹⁵)

柏原町(柏原,9.VI.1955,1♀,16.V.1956,1♀,山本義丸⁹⁶)

北淡町(常陸寺山,5.VIII.1972,2♂,登日邦明⁹⁷)

洲本市(物部,2.V.1981,1ex.,林俊雅⁹⁸)

南淡町(阿万上町,10.V.1959,-,藤平明⁴¹:同,8.V.1986,-,藤平明⁹⁹:同,25.IV.1995,-,14.IX.1995,-,藤平明¹⁰⁷:賀集,25.IV.1994,-,3.V.1995,-,藤平明¹⁰⁷:灘黒岩,4.V.1997,-,藤平明¹⁰⁷)

8. *Hypena ella* Butler (4455)

ソトムラサキアツバ

前3種と極めて近縁だが、後翅が黒褐色である。宮城県付近を北限とし、四国、九州まで分布する。現在のところ、日本特産種とされている。幼生期は不明である。県下での記録はやや少なく、局地的な発生となっている。里山に分布の中心があるのは前種と同様で、いずれの記録地でも前種と混生している。同時期に採集されているケースも多く、すみわけはしていないようである。

【採集記録】

川西市(黒川,3.V.1997,1♂;5.VII.1997,1♂,高島昭¹⁷¹)

猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,1♀,夏秋ほか⁷³)

三日月町(下本郷,-.IX.-,-.VII.1984,-,川副昭人¹⁰²)

柏原町(柏原,-,-,-,-,山本義丸¹⁵⁵)

南淡町(阿万上町,10.V.1959,-,藤平明⁴¹)

9. *Hypena tatorhina* Butler (4457)

ヒトスジアツバ 注目種

北海道から九州にかけて分布するが、幼生期は不明である。6~8月に見られ、おそらく年1回の発生である。産出は局地的であるという。

県下ではこれまで上月町、波賀町、養父市と宍戸町で1例ずつ得られているだけである。地味な蛾なので飛来しても採集されていない場合も多いのではないと思われる。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,17.IX.1998,1♂,高島昭)

上月町(西新宿,1.VI.1996,1♂,高島昭)

養父市(鉢伏高原,24.VII.1974,1♀,山本義丸⁹⁶)

宍戸町(神楽,1.VIII.1954,1♂,山本義丸⁹⁶)

10. *Hypena strigatus* (Fabricius) (4461)

ナミテンアツバ 注目種

暖地性の種で、関東地方以西、四国、九州、屋久島、西表島から記録されている。夏から秋に発生し成虫で越冬する。幼虫はヌスビトハギから記録されている。県内では、黒田庄町、柏原町の内陸部で古い記録があるだけで、他に報告はない。

【採集記録】

黒田庄町(喜多,1.X.1962,1ex.,岡本清¹⁰⁰)

柏原町(柏原,15.IX.1949,1♀,山本義丸^{155*})

11. *Hypena occata* Moore (4465)

オオトビモンアツバ

福井県と関東地方を結ぶ線以西、奄美大島まで分布する。八丈島からも記録がある。カラムシを食草とし、夏に出現した蛾は越冬し、翌春再び活動する。普通種と思われるが県内の記録は少なく、これまで宝塚市、波賀町、氷上郡、南淡町で報告されているだけであるが、南淡町では普通に見られるようであり、南部平坦地には広く分布しているかもしれない。

【採集記録】

西宮市(-,9.X.1967,1♀;16.X.1967,1♀,阪口浩平⁹⁸)

宝塚市(宝梅1丁目,12.III.1992,1♂,東正雄¹⁰⁰)

波賀町(引原,22.X.1975,1♀,遊磨正秀⁹⁵)

氷上郡(-,-,-,-,-,山本義丸¹⁵⁵)

南淡町(阿万上町,2.X.1967,-,藤平明⁴¹:同,29.IV.1986,-,藤平明⁹⁹:賀集,3.V.1995,-,藤平明¹⁰⁷:灘大川,15.IV.1995,-,藤平明¹⁰⁷:灘黒岩,29.VI.1997,-,藤平明¹⁰⁷)

12. *Hypena innocuoides* Poole (4466)

ウスチャモンアツバ

暖帯性の日本特産種で、伊豆半島付近から本州南岸沿いに南西諸島まで分布する。他の同属種と同じく夏に出現した成虫は越冬して翌春まで生き延びる。Wileman が *H. triangularis* Moore として記録されたもの(1911)は本種を指しているとの考察がある。兵庫県は北限付近と見られるが、南淡町のほか内陸の西脇市、波賀町、養父市からの各1例が記録されている。淡路や瀬戸内海沿岸地域からの発見が期待できる。かつて三日月町や朝来町で同名で報告されたものは次種である可能性が強いと思われる。

【採集記録】

西脇市(-,26.IV.1960,-,岡本清¹⁰⁰)

波賀町(引原,21.X.1997,1♀,高島昭)

養父市(大段ヶ平,1.VII.2000,1♂,高島昭)

南淡町(賀集,25.IV.1994,-,藤平明¹⁰⁷:灘大川,9.IV.1996,-,藤平明¹⁰⁷)

13. *Hypena indicatalis* Walker (4467)

トビモンアツバ

季節変異が大きい種で、暖地性。関東地方を北限として西南日本から南西諸島に分布する。温暖地では普通種。年2回の発生で、モンクロアツバと呼ばれたものは本種の秋型の♀で、*H. triangularis* Mooreは誤用であるという。幼虫はカラムシにつくことが知られている。県内では各地に普通で、平地から山地までまんべんなく得られている。モンクロアツバの和名で記録がある三日月町産、朝来町産のものは本種と思われるので、あわせて掲示しておく。

【採集記録】

神戸市(摩耶山, ---, 田中番¹⁵)
西宮市(-, 9.X.1967, 1♂, 阪口浩平*)
川西市(黒川, 10.VIII.1996, 1♂; 7.IX.1996, 2♂; 9.XI.1996, 1♂ 1♀; 3.V.1997, 1♂ 1♀; 7.VI.1997, 1♂, 高島昭¹⁷¹: 平野, 26.VI.1992, 1♀, 東正雄¹²⁰)
宝塚市(武田尾, 12.VIII.1991, 1♀, 東正雄¹³⁰: 南口2丁目, 4.XI.1988, 新家勝¹²⁹)
黒田庄町(喜多, 12.IX.1960, 2exs.; 17.X.1960, 1ex.; 29.XI.1961, 2exs.; 28.IV.1962, 1ex., 岡本清¹⁶⁶)
八千代町(笠形山, 5.VIII.1960, 1ex., 岡本清²⁰⁴)
加美町(千ヶ峰, 13.VIII.1961, 2exs., 岡本清²⁰⁴)
姫路市(太市, ---, 1991, -, 丸谷ほか¹²⁸)
波賀町(引原, 11.X.1975, 1♂, 遊磨正秀⁵⁵)
相生市(瓜生, 18.IV.1995, 1♀; 28.IV.1995, 1♀, 高島昭¹⁵³)
上郡町(船坂, 8.IV.1998, 2♂, 高島昭: 行頭, 7.IX.1995, 1♂, 高島昭¹⁵³)
上月町(西新宿, 1.VI.1996, 1♂, 高島昭)
三日月町(下本郷, -.V.1984, -, 川副昭人¹⁰³)
朝来町(須留ヶ峰, 9.VI.1975, 1♀, 遊磨正秀⁵⁵)
養父市(大屋町横行溪谷, 9.VI.1999, 1♂; 13.VIII.1999, 1♂, 高島昭: 氷ノ山, ---, 遼山ほか³⁵)
柏原町(柏原, 29.X.1953, 1♂; 24.VI.1955, 1♀, 山本義丸*)
津名町(大町畑, 5.IV.1972, 1♀, 登日邦明²⁵)
南淡町(阿方上町, 21.VIII.1962, -, 藤平明⁴¹: 賀集, 25.IV.1994, -; 13.XI.1995, -, 藤平明¹⁹⁷: 瀬黒岩, 1.IX.1997, -, 藤平明¹⁹⁷)

14. *Hypena subcyanea* Butler (****)

アオアツバ

暖地性の種でおそらく本州南岸沿いから南西諸島にかけて分布するものと思われる。夏に出現した蛾はそのまま越冬し、翌春再び活動する。幼生期はよくわかっていないが、ハリブトシリアゲアリの巢の近くで蛹が発見された。関連性は不明であるが、マツとの関係があるとされている。現状では記録が少なく、県下では筆者が上郡町で採集した1例のみであるが、近県では大阪府箕面や池田市で採集されているので、北摂から六甲山系、淡路などマツが多い地域では広く分布すると思われる。

【採集記録】

上郡町(行頭, 12.VII.1995, 1♂, 高島昭¹⁵⁰)

15. *Hypena lignealis* Walker (4472)

オスグロホソバアツバ

おそらく本州西南部から四国、九州にかけて分布すると思われるが、採集例が少ないので定かでない。今のところ福井県武生市及び長野県武石峠の採集例が最北のものと思われる。近県では三重県湯ノ山、大阪府箕面市、岡山県新郷町、備中町からも記録されている。成虫で越冬する。県下の記録は局地的ながら各地から報告されている。基本的に暖帯林が本来の生息地と思われるが、氷ノ山周辺での採集記録が多い。かなり移動性があるのかもしれない。

【採集記録】

猪名川町(上阿古谷, 12.VIII.1982, 1♂, 夏秋ほか⁷³)
波賀町(坂の谷, 28.IV.1998, 1♂ 1♀; 12.VI.1998, 1♀, 高島昭: 引原, 5.VIII.1988, 1♀, 高島昭¹⁶⁵)
養父市(大屋町横行溪谷, 13.VIII.1999, 1♂, 高島昭: 氷ノ山, 23.VII.1957, 1♂, 山本義丸¹²²: 大段ヶ平, 21.VII.2000, 1♀, 高島昭)
宍塚町(神楽, 1.VIII.1954, 1♂, 山本義丸^{156*})
南淡町(灘, 15.IV.1995, -, 藤平明¹⁹⁷)

16. *Hypena whiteyi* Butler (4473)

ホソバアツバ 注目種

冷温帯性の種で日本特産。北海道から本州にかけて生息する。夏から秋に出現し、成虫で越冬する。幼生期はよくわかっていない。県内では波賀町と津名町で記録されているだけで、分布状況はよくわかっていない。

【採集記録】

波賀町(引原, 2.VI.1975, 1♂, 遊磨正秀⁵⁵)
津名町(大町畑, 1.VII.1972, 1♀, 登日邦明²⁷)

17. *Hypena tristalis* Lederer (4474)

ミツボシアツバ 注目種

雌雄異型で北海道から九州にかけて本土域に分布する。夏から出現し、成虫で越冬する。ヤブマオ類、ハルニレ、マメ科の草本につくことが知られている。クズからも幼虫が確認された(富樫, 1984)。県内での記録は少なく、波賀町から養父市にかけての氷ノ山周辺で得られているだけで局地的な分布である。

【採集記録】

波賀町(坂の谷, 26.VIII.1992, 1♂, 大西秀岳*: 同, 17.VII.1998, 1♂, 高島昭: 引原, 7.VI.1975, 1♀; 11.X.1975, 3♂ 1♀; 22.X.1975, 2♂; 22.V.1976, 1♀; 5.VIII.1978, 1♀, 遊磨正秀⁵⁵: 同, 16.V.1988, 1♀; 29.VII.1988, 1♂; 1.X.1988, 1♂; 7.X.1988, 1♀, 高島昭¹⁶⁵)
養父市(大屋町横行溪谷, 15.V.1999, 1♂; 11.VI.1999, 1♀; 8.VIII.1999, 1♀, 高島昭: 大段ヶ平, 2.VI.2000, 1♀, 高島昭: 氷ノ山, 22.VIII.1954, 1♀; 16.VIII.1955, 1♂ 1♀; 11.VIII.1956,

1♂1♀,山本義丸*)

18. *Hypena narratalis* Walker (4475)

ムラサキミツボシアツバ

前種によく似るが、前翅の幅がやや狭く、色調は濃く、前翅の台形状の暗色部の形状が異なる点で区別できる。北海道から四国にかけて分布するが、前種より山地性でやや局地的な分布をする。県内ではこれまで波賀町から氷ノ山山系にかけて得られているだけであるが、発生地では比較的普通に見られる。

[採集記録]

波賀町(音水,10.VII.1964,1ex.,岡本清²⁰⁴:坂の谷,17.IV.1998,1♂;5.VI.1998,1♀,高島昭:引原,20.VIII.1988,1♂;7.X.1988,1♀,高島昭¹²:同,21.X.1997,1♂,高島昭) 養父市(大屋町横行溪谷,17.IV.1999,1♂2♀;2.V.1999,1♀,高島昭:大段ヶ平,2.VI.2000,1♂;21.VII.2000,1♂,高島昭)

19. *Hypena pulverulenta* Wileman (****)

コテングアツバ 注目種

日本特産種で、高尾山を北限として東海地方以西、紀伊半島、四国、九州などで得られている。近隣府県では大阪府箕面市で得られている。夏以降の出現で成虫で越冬する。幼生期は不明である。暖帯系の種で県内では川西市、高砂市、姫路市と南部低山地で得られているが局地的である。

[採集記録]

川西市(黒川,10.VIII.1996,1♂,高島昭¹⁷¹) 高砂市(-,23.XI.1963,2exs.;22.XI.1964,1ex.;1.XI.1967,1ex.,岡本清¹⁵⁸) 姫路市(太市,6.V.1995,1♂,高島昭¹⁶⁹)

20. *Hypena kengkalis* Bremer (4476)

ソトウスナミガタアツバ 注目種

ナミガタアツバに似るが、前翅前縁部の外縁線の出発点の位置が異なることで区別できる。ソトウスアツバとも呼ばれ、幼虫はハギ類につく。県内では宍垣町と南淡町から報告されているが、近年の記録はない。

[採集記録]

宍垣町(神楽,---,山本義丸¹⁵⁵) 南淡町(阿万上町,15.IV.1974,-;10.V.1974,-,藤平明⁹⁹)

21. *Hypena abducalis* Walker (4477)

サザナミアツバ

東北地方から四国、九州にかけて分布し、夏に出現して成虫で越冬、翌春にも得られる。アトムラサキアツバとも呼ばれる。幼生期は日本では不詳であるが、インドではマメ科植物につくという。

県内では、低山地を中心にぼつぼつと古い記録が点在するが最近の記録はない。

[採集記録]

西宮市(生瀬,5.IV.1972,1♀,遊磨正秀³¹:-,31.VIII.1967,1♀,阪口浩平*)

黒田庄町(喜多,19.IV.1960,1ex.;14.IX.1960,1ex.;17.XI.1960,1ex.;26.VII.1961,2exs.,岡本清¹⁶⁸)

佐用町(佐用,28.VI.1965,1ex.,岡本清²⁰⁴)

養父市(氷ノ山,---,遠山ほか³⁸:同,6.VII.1956,1♀,山本義丸*)

柏原町(柏原,27.VIII.1949,1♀,山本義丸*)

宍垣町(神楽,12.VIII.1953,1♂,山本義丸*)

22. *Hypena similalis* Leech (4478)

ナミガタアツバ

外横線は赤褐色で翅頂から発する。夏以降出現し、成虫で越冬する。幼虫はハギ類につく。県内からは南部の市街地から低山地にかけて数カ所得られている。個体数は少ないようである。但馬地域にも広く分布すると思われる。

[採集記録]

宝塚市(植物園,26.III.1932,1♂,東正雄¹³⁶)

黒田庄町(喜多,1.V.1960,1ex.,岡本清¹⁶⁸)

安富町(大河溪谷,26.IV.1999,1♀,高島昭)

波賀町(引原,24.IV.1998,1♀,高島昭)

柏原町(柏原,12.IV.1956,1♂,山本義丸*)

市島町(妙高山,---,山本義丸¹⁵⁵)

北淡町(常陸寺山,31.VII.1967,-,登日邦明¹⁵)

南淡町(阿万上町,14.IV.1968,-,藤平明⁴¹)

23. *Bomolocha stygiana* (Butler) (4481)

ヤマガタアツバ

本州北部から九州、対馬にかけて分布し、各地に普通に産する。ウツギヤマルバウツギにつく。年2~3回の発生と思われる。県内でも低山地から山地まで広く記録があり、*Bomolocha* 属の中では最も普通種である。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,---,田中馨¹²:同,2.VI.1965,1♂,岡村八郎*)

:六甲山,17.VI.2001,1ex.,MT;18.VIII.2001,3exs.,MT,八木ほか^{236*}:同,5.VII.2001,1ex.,八木剛^{236*})

宝塚市(武田尾,16.VIII.1991,1♀,東正雄¹³⁶)

八千代町(笠形山,3.X.1966,1ex.,岡本清²⁰⁴)

加美町(三国岳,10.VIII.1961,1ex.,岡本清²⁰⁴)

姫路市(太市,28.VI.1995,1♂,高島昭:広嶺山,13.V.1982,1♂,相板耕作)

大河内町(砥峰高原,27.VII.2002,1ex.,八木剛^{243*}:同,24.VIII.2002,3exs.,勝又千寿代^{243*})

安富町(大河溪谷,14.V.1999,1♀,高島昭)

波賀町(坂の谷,6.VI.1992,1♂,熊代直生*:同,26.VI.1998,

1♂,高島昭:鹿伏,18.VIII.1995,1♂,高島昭:原,28.VII.

1995,1♀,高島昭:引原,1.VI.1974,1♂2♀;8.VI.1974,1♂;2.

VI.1975,2♀;22.V.1976,2♂;3.V.1978,1♂,遊磨正秀⁵³:同,

16.V.1988,1♀;26.V.1988,2♀;7.VI.1988,1♂;2.VII.1988,1♂,

高島昭¹⁴³)
 相生市(瓜生,24.V.1989,1♂,高島昭¹⁵²:同,29.V.1997,1♂;24.VII.1997,1♂,高島昭)
 上月町(西新宿,16.VIII.1997,1♂,高島昭)
 三日月町(下本郷,-,VI.-,-,IX.-,-,VII.1983,-,VIII.1983,-,V.1984,-,川副昭人¹⁵³)
 温泉町(扇ノ山,-,-,-,遠山ほか³⁶:湯村温泉,19.VIII.1953,1♂,山本義丸*)
 村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,1♂,高島昭)
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,2♂2♀,遊磨正秀³⁶)
 養父市(大屋町横行,23.VII.1957,1♀,山本義丸*:大屋町横行溪谷,6.VII.1999,1♂,高島昭:氷ノ山,-,-,-,遠山ほか³⁶)
 柏原町(柏原,3.VI.1953,1♀,山本義丸*)
 宍垣町(神楽,13.VIII.1953,2♂1♀,山本義丸*)
 北淡町(常陸寺山,31.VII.1967,-,登日邦明¹⁹:同,7.VII.1972,3♂;5.VIII.1972,2♂,登日邦明³⁷)
 南淡町(阿万上町,9.V.1972,-,藤平明⁴¹:同,14.VIII.1972,3♂,登日邦明³⁷:同,13.IX.1986,-,藤平明⁶⁹:賀集,25.IV.1994,-;3.V.1995,-,藤平明¹⁹⁷:灘大川,31.VIII.1994,-,藤平明¹⁹⁷:灘黒岩,29.VI.1997,-;1.IX.1997,-,藤平明¹⁹⁷:福良向谷,11.V.1996,-;22.IV.1997,-,藤平明¹⁹⁷)

24. *Bomolocha squalida* (Butler) (4483)

ハンゴアツバ

北海道から九州に分布し、5~8月の発生である。幼虫はツツジ科、バラ科につくことが知られている。県内ではやや局地的な分布となる。古い文献では、*B.zilla* とされたが誤りで、表記の名が正しい。*zilla* はシラクモアツバで古い記録ではどちらを指すのかわからない場合があり、確認が必要である。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,22.VIII.1962,1♂,田中蕃¹³:同,14.VIII.1968,1♀,岡村八郎*)
 黒田庄町(喜多,12.VI.1961,1ex.;12.IX.1961,1ex.,岡本清¹⁶⁵)
 養父市(氷ノ山,-,-,1954,-,山本義丸*)
 柏原町(柏原,29.V.1952,1♀,山本義丸*)
 北淡町(常陸寺山,19.VIII.1970,2♂,登日邦明²⁹)
 南淡町(阿万上町,22.VIII.1960,-;15.V.1972,-,藤平明⁴¹:賀集,25.IV.1994,-;3.V.1995,-,藤平明¹⁹⁷:福良向谷,11.V.1996,-,藤平明¹⁹⁷)

25. *Bomolocha semialbata* Sugi (4484)

ミヤマソトシロアツバ

1970年に群馬県で採集された個体に基づいて記載された種で、日本特産種。北海道から四国にかけてと対馬に産する。出現時期は5~9月。幼生期は不詳である。県内では次の5カ所で記録されているだけであるが、県内に広く分布しているのではないかと思われる。

【採集記録】

宝塚市(西谷西部,14.V.1977,1♂,東正雄¹³⁰)

波賀町(引原,1.IX.1988,1♀,高島昭¹⁴²)
 上郡町(行頭,2.V.1995,1♂,高島昭¹⁵⁰)
 養父市(氷ノ山,-,-,-,遠山ほか³⁶)
 柏原町(柏原,14.V.1953,1♂,山本義丸*)

26. *Bomolocha rivuligera* (Butler) (4486)

アイモンアツバ

北海道から九州に至る本土域に分布し、5~9月に出現する。幼虫はイラクサ科のアカソから発見されている。現在のところ県内での既知産地は山地に限られている。

【採集記録】

神戸市(六甲山,17.VI.2001,1ex.,MT;24.VI.2001,1ex.,MT;18.VIII.2001,2exs.,MT,八木ほか^{230*})
 加美町(三国岳,10.VIII.1961,1ex.,岡本清²⁰⁴)
 波賀町(引原,27.VIII.1973,1♀;8.VI.1974,1♂;2.VI.1975,1♂;22.V.1976,1♂,遊磨正秀⁵⁵)
 三室山(-,-,-,遠山ほか³⁶)
 温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,1♂,谷田昌也⁹⁷)
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂2♀;31.VII.1975,1♂,遊磨正秀³⁶)
 養父市(氷ノ山,6.VII.1956,1♀,山本義丸^{122*})

27. *Bomolocha zilla* (Butler) (4487)

シラクモアツバ

季節、雌雄によって斑紋に変異が大きい。北海道から四国にかけて分布し、本州では年2化とされている。幼虫はミヤマザクラを食べることが発見された(小木,1984)。県内では主に低山地から採集されているが普遍的ではない。

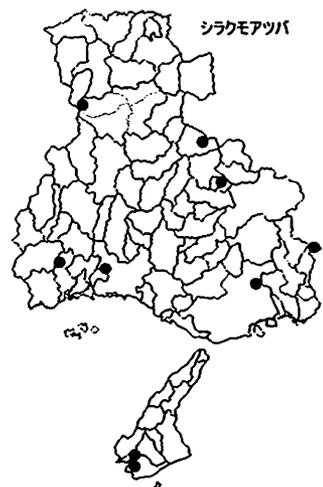
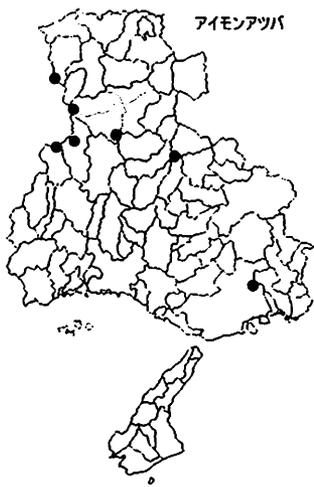
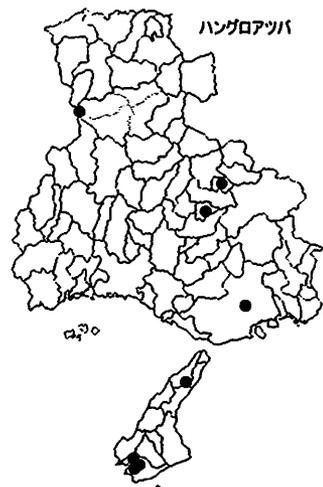
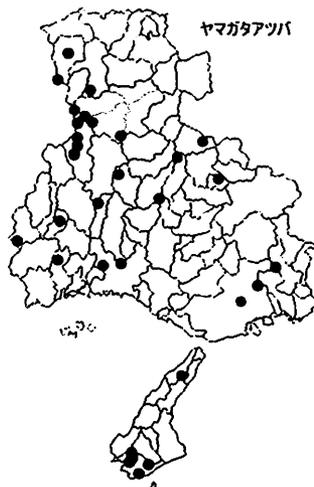
【採集記録】

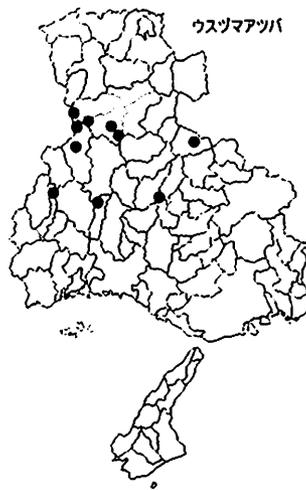
神戸市(有馬,3.VIII.1992,1♂,東正雄¹³⁰)
 川西市(黒川,7.IX.1996,1♂,高島昭¹⁷⁷)
 姫路市(太市,17.V.1995,1♂,高島昭)
 相生市(瓜生,24.V.1989,1♀;7.VI.1989,1♂,高島昭¹⁵²:同,28.IV.1997,1♀,高島昭)
 養父市(大久保,3.VIII.1961,1ex.,岡本清²⁰⁴)
 柏原町(柏原,7.V.1953,1♀;24.V.1955,1♀,山本義丸*)
 宍垣町(神楽,13.VIII.1952,1♂;12.VIII.1953,2♂,山本義丸*)
 南淡町(阿万上町,22.VIII.1960,-;15.V.1972,-,藤平明¹⁹⁷:賀集,3.V.1995,-,藤平明¹⁹⁷)

28. *Bomolocha benepartita* Sugi (4488)

シモフリヤマガタアツバ

ヤマガタアツバによく似ているが、外横線、垂外縁線の形状が異なる。6~9月にかけて発生し、幼生期は不詳である。大図鑑では群馬県、長野県、四国山地と限られた産地しかあがっていなかったが、県内でも八千代町、波賀町、養父市大屋町の山間部で記録がある。おそらく少ないものの山地帯には広く分布するものと思われる。





【採集記録】

八千代町(笠形山,8.VIII.1965,1ex.,岡本清²⁰⁴)
 波賀町(音水,24.V.1964,1ex.,岡本清²⁰⁴:坂の谷,27.V.1998,
 1♀,高島昭¹⁸⁵)
 養父市(大屋町横行溪谷,3.IX.1999,1♀,高島昭)

29. *Bomolocha perspicua* (Leech) (4489)

ウスツマアツバ

官城県付近を北限とし、四国、九州、対馬に分布する。5~9月に出現し、幼虫はイラクサ科の植物を食べる。県内の分布はこれまでのところ山地帯から記録されており、やや局限される傾向にある。季節変異が大きい種で、本種の夏型はホシムラサキアツバの♀とよく似ており、同定には注意が必要である。

【採集記録】

八千代町(笠形山,27.IV.1968,1ex.,岡本清²⁰⁴)
 安富町(大河溪谷,5.VI.1999,1♂,高島昭)
 波賀町(坂の谷,20.VI.1998,1♂,高島昭:引原,4.VII.1973,1♂;
 12.VIII.1974,2♂;27.IX.1974,1♂1♀;2.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁵:同,26.V.1988,1♂;5.VIII.1988,2♂;20.VIII.1988,1♂,
 高島昭¹⁸⁵)
 南光町(船越,23.VIII.1963,2exs.;31.VII.1964,1ex.,岡本清²⁰⁴)
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,2♂,遊磨正秀⁵⁵)
 養父市(大屋町田淵山,5.VIII.1975,1♂,遊磨正秀⁷⁰:大屋町
 横行溪谷,23.VII.1999,1♂;13.VIII.1999,1♂,高島昭:米ノ
 山,---,遺山ほか²⁰⁵)
 奇壇町(神楽,13.VIII.1953,3♂,山本義丸*)

30. *Bomolocha bicoloralis* Graeser (4490)

マルモンウスツマアツバ 注目種

冷温帯に分布の中心があり、北海道では普通であるが本州、四国では局地的になるという。対馬から

も得られている。国外では沿海州に分布する。年2回出現し、ハルニレ、ケヤキなどから幼虫が見つかる。前種とよく似ているが外横線はより滑らかに湾曲していること、翅頂部の半月状紋が小さいことなどで区別できる。県内では米ノ山南麓にあたる波賀町坂の谷と南淡町から記録されているだけで局地的である。本来冷温帯性の種であり、淡路での記録は確認が必要と思われる。岡山県では北部、中部に少ないながら分布しているようなので、西播から但馬、丹波にかけての山地帯には分布していると思われる。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,27.V.1998,1♂;3.VII.1998,1♂;17.IX.1998,1♂,
 高島昭¹⁸⁵)
 南淡町(阿万上町,17.IX.1984,-9.IX.1986,-藤平明⁵⁹:同,20.
 VII.1995,-藤平明¹⁸⁷)

31. *Bomolocha nigrobasalis* Herz (4491)

ホシムラサキアツバ

♂は全体的に暗褐色鱗粉で覆われ、斑紋は不鮮明である。♀では斑紋は鮮明でウスツマアツバに似るが、外横線は前縁部でほぼ垂直に近い角度で出発すること、外横線外側の暗色点列が鮮明であることから区別できる。北海道から九州にかけて分布し、内陸山地や日本海側で多産するという。年2回の出現でツツジ類を食樹としている。

県内での分布はやや局地的であるが、引原ダムでは普通に見ることができる。おそらく内陸部には広く分布しているものと思われる。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,---,岡村八郎¹⁰⁴)
 波賀町(坂の谷,27.V.1998,1♂,高島昭:引原,1.VI.1974,1♂,

兵庫県におけるアツバ亜科分布一覽表

2004.1.1 現在	神戸	阪神北摂	中東播磨	中東播磨北部	西播磨	西播磨北部	北但	南但	丹波	淡路北部	淡路南部	記録地数	備考
1. マエキトガリアツバ												1	注目種
2. テングアツバ	○	○		○		○		○				9	
3. トガリアツバ									○	○	○	5	
4. ナカジロアツバ	○	○		○	○	○		○	○	○	○	17	
5. キシダアツバ	○	○		○	○	○		○	○	○	○	16	
6. クロキシダアツバ	○	○		○	○	○		○	○	○	○	25	
7. タイウンキシダアツバ				○	○	○		○	○	○	○	15	
8. ソトムラサキアツバ		○			○	○						5	
9. ヒトスジアツバ					○	○		○				4	注目種
10. ナミテナアツバ				○								2	注目種
11. オオトビモンアツバ		○				○					○	8	
12. ウスチャモンアツバ				○		○		○			○	5	
13. トビモンアツバ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	24	
14. アオアツバ					○							1	
15. オスグロホソバアツバ		○				○		○			○	8	
16. ホソバアツバ						○				○		2	注目種
17. ミツボシアツバ						○						5	注目種
18. ムラサキミツボシアツバ						○		○				5	
19. コテングアツバ		○	○									3	注目種
20. ソトウスナミガタアツバ									○		○	2	注目種
21. サザナミアツバ		○		○	○			○				6	
22. ナミガタアツバ						○		○	○	○	○	8	
23. ヤマガタアツバ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	
24. ハングロアツバ	○			○				○	○	○	○	8	
25. ミヤマソトジロアツバ		○				○						5	
26. アイモンアツバ	○			○	○	○	○					7	
27. シラクモアツバ	○	○	○		○							9	
28. シモフリヤマガタアツバ					○							4	
29. ウスツマアツバ				○				○				10	
30. マルモンウスツマアツバ						○					○	2	注目種
31. ホシムラサキアツバ	○				○	○	○					7	
32. ムラクモアツバ	○	○			○	○						9	
33. マガリウスツマアツバ				○			○	○				3	注目種
34. アヤナミアツバ			○	○					○	○	○	6	
アツバ亜科 合計	11	16	5	18	13	21	5	23	21	10	17		

遊磨正秀⁵⁵ : 同,7.VI.1988,1♀;18.VI.1988,1♀;29.VII.1988,1♂;5.VIII.1988,1♂,高島昭¹⁴² : 同,21.X.1997,1♂;10.VII.1998,1♀,高島昭)

相生市(瓜生,30.IV.1997,1♂,高島昭¹⁷⁸)
 三日月町(下本郷,-.VII.1983,-,川副昭人¹⁶²)
 竹野町(森本,27.IX.1998,1ex.,柴田剛)
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁶)

32. *Bomolocha melanica* Sugi (4492)
 ムラクモアツバ

前種に近縁で♂はよく似ているが、外横線の起点と末端部に弱い灰白色条が前種より目立つ。日本特産種で、東北地方から九州にかけて分布するが前種よりもはるかに少ないという。幼生期は不詳である。県内で記録があるのは次のとおりでやや局地的な

産出状況である。大図鑑では発生時期は前種と異なり、年1回6~7月の出現であるというが、県下の採集例を見ると5月から9月に及んでおり、周年経過の実態と正確な同定の両面から検討を要する。

【採集記録】
 神戸市(摩耶山,22.VIII.1962,1♂;20.VII.1963,1♀,田中養¹⁵)
 宝塚市(西谷西部,1.IX.1991,1♀,東正雄¹³⁰ : 宝梅1丁目,1.IX.1991,1♂,東正雄¹³⁰)
 八千代町(笠形山,4.VIII.1960,1ex.,岡本清²⁰⁴)
 波賀町(坂の谷,17.VII.1998,1♀,高島昭 : 引原,12.VIII.1974,1♂,遊磨正秀⁵⁵ : 同,26.V.1988,1♀;20.VIII.1988,1♀,高島昭¹⁴²)
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂1♀,遊磨正秀⁵⁶)
 養父市(大屋町横行溪谷,4.VI.1999,1♂,高島昭 : 氷ノ山,11.VIII.1956,1♂,山本義丸*)

33. *Bomolocha mandarina* Leech (4493)

マガリウスツマアツバ 注目種

本属としては大型で、斑紋は鮮明。宮城県を北限として関東、中部、四国、九州山地に産するが産出は局地的で個体数も少ないという。7~8月に得られているが発生回数、幼生期ともに不詳。県内からは中部から北部の山地帯で得られている。

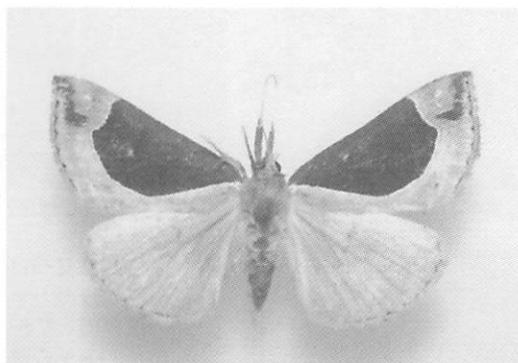
[採集記録]

大河内町(砥峰高原, 10.VIII.2002, 1ex., 八木剛^{243*})村岡町(鉢北高原, 19.VIII.2000, 1♀, 高島昭²⁴⁴)養父市(大段ヶ平, 1.VII.2000, 2♀; 4.VIII.2000, 1♂, 高島昭²⁴⁴)34. *Zekelita plusioides* (Butler) (4429)

アヤナミアツバ

Rhynchodontodes 属から *Zekelita* 属に変更された (Lödi, M & B. Mayer, 1997)。県下では加古川流域と淡路島で得られているだけであるが、各地に広く分布すると思われる。

[採集記録]

高砂市(-, 6.IX.1970, -, 岡本清¹⁵⁶)黒田庄町(喜多, 21.VI.1959, 1ex.; 1.VI.1960, 1ex.; 9.VI.1960, 1ex.; 24.VI.1960, 1ex.; 14.VII.1960, 1ex.; 8.V.1961, 1ex., 岡本清¹⁵⁶)柏原町(柏原, 4.VI.1954, 1♀; 2.VI.1955, 1♀, 山本義丸^{*})北淡町(常陸寺山, 5.VIII.1972, 1♂, 登日邦明²⁹)津名町(大町畑, 8.VII.1972, 1♀; 27.VII.1972, 1♂, 登日邦明²⁹)南淡町(阿万上町, 9.IX.1961, -; 25.V.1968, -, 藤平明⁴¹; 同, 6.V.1972, 1♀, 登日邦明²⁶; 同, 20.V.1961, -; 18.V.1973, -; 5.VI.1985, -; 16.VIII.1985, -; 16.VI.1987, -, 藤平明¹⁹⁷)

マガリウスツマアツバ

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)